

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	13 東京都
市区町村名	
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組 これまでの取組状況	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
13118荒川区	②学校と地域の課題	05 その他	新型コロナウイルスの影響や、講師の高齢化等により、地域住民による活動プログラムの実施回数が減少している。	区の有償ボランティアへの登録の周知や、地域イベントの情報共有等を協議会等で行っていく。加えて、各施設の毎月のお便り等を活用し、有償ボランティアへの登録だけでなく、具体的な活動プログラムを掲示し、参加しやすい周知内容に変えていく。	協議会等を通して有償ボランティアへの登録を周知していたが、活動プログラムの重要性や、活動内容が伝わりづらく、効果は限定的であった。そのため、より具体的な活動プログラムを掲示し、募集することで、参加を促していく。	講師プログラムの実施や、地域のイベントへの参加だけではなく、各施設で企画するプログラムに地域住民が参加する機会を設け、交流を増やす。	有償ボランティアの講師プログラム、または、地域住民と交流するプログラムを月平均1回以上実施している放課後子供教室の割合	40	%	50	40	有償ボランティアによる活動プログラムの実施に積極的な施設が半数近くあり、町会との関係性や、保護者との深いコミュニケーションを築く機会としてプログラムが展開されている。一方、地域との関係が希薄な施設や、現在実施している活動プログラムとの兼ね合いもあり実施が困難であると感じる施設もある。単に地域住民と活動を展開していくということだけではなく、各施設の状況を勘案し、どのように地域住民とかわかるプログラムを展開していくべきか、内容について各々模索し、必要な人材を求めていく必要がある。	https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a036/kosodate/houkago/niko_kadai.html